

～平戸高校図書館だより～

梶の葉



2025年4月30日発行 No.1
長崎県立平戸高等学校図書館

皆さん、本を読むことは好きですか？「漫画は面白くて読みやすいけど、小説は読むのが大変であまり好きじゃない」という人も多いと思います。ですが、本を読むことで得られるものは沢山あります。例えば単に知識を増やすだけでなく、思考力、想像力、感受性、そしてコミュニケーション能力など、様々な能力を育み、豊かな人生を送るための基盤を築いてくれます。今は1人3冊までしか借りれませんが、1冊でも多く読んで本を読む習慣を身につけていきましょう。

(3学年 松本希)

～図書館職員より～

図書室の今野敬子です。新しい1年がスタートしました。新入生の皆さんは期待と不安がいっぱいだと思いますが、平戸高校の先輩方はみんな優しいので大丈夫ですよ。私も先輩方に助けてもらいながらお仕事させて頂いています。11時40分から図書室にいますので休み時間でも昼休みや放課後などでも気軽に寄って好きな本を見つけて読んで下さい。2年生、3年生の皆さん、今年度ご協力の程よろしくお願いします。

～今野さんのおすすめ本～



小嶋君と小佐内さんは、恋愛関係にも依存関係にもないが、互恵関係にある高校1年生。今日も二人は手に手を取って清く慎ましい小市民を目指している。ライトミステリで読みやすく面白い。

主人公の成瀬あかりの、突飛な行動と真面目さ、そしてそれを周りに巻き込んでいく姿が魅力的で、読んでいて元気になれるような小説。誰でも読みやすい文章で、疲れていても気軽に読むことができる。

高校生の茜寧は、偽りの自分を演じる苦しい毎日を送っていた。そんなある日、愛読小説の人物にそっくりな人と街で出逢ったことで始まる青春群青物語。読者それぞれの想像、解釈が生まれる複雑で面白い本。